

1セット300円

『ソーマキューブ』で遊ぼう！

Do★MATH 同志社中学校数学博物館

ソーマキューブは、小さな立方体を3～4個くっつけたパートを組み合わせて、27個(3×3×3)でできる大きな立方体(キューブ)を完成させる遊びです。組み立て方は480通りもあり、ソーマキューブはとても奥が深いパズルです。本校の課外特別授業「同中学びプロジェクト」では、小さな立方体から自分でパートを作り、キューブを組み立てながら、できるだけ多くの組み立て方を考えていきます。

デンマークの詩人でパズルデザイナーのピート・ハイン(1905-1996)は、ドイツの物理学者ハイゼンベルク(1901-1976)の量子力学の講義中に、「ソーマキューブ」を考えました。講義の中の「空間を多数個の立方体に切り分ける」という彼の話から、ハインはこのアイデアを思いついたのです。それは、「4個以下の立方体を接続してできる立体のうち、凹凸のあるブロックだけを全て使って1個の大きな立方体を作ることができる」というものです。

ソーマキューブは、最初は大人のパズルとして考案されました。現在は子どもの知育遊びとして活用されています。ソーマキューブの7つのパートに決まった色を塗って、普通の積み木遊びとしても楽しめます。ぜひ一度チャレンジしてみてください。



“Soma cube”

The Soma cube is a game that uses 7 pieces made of unit cubes into a 3×3×3 cube. Each piece is made of 3 or 4 unit cubes. The number of assembling methods are 480. Our students make 7 pieces from unit cubes themselves, and think of the number of assembling methods through putting up at an extra program “Do - chu Manabi Project” that we did after school.

Danish poet, designer Piet Hein (1905-1996) invented it during a lecture on quantum mechanics conducted by German physicist Werner Heisenberg (1901-1976). Piet Hein had an idea from Heisenberg's story, “we divide space from many cubes”. The idea is “we can make a big cube using pieces that have unevenness and were made of 3 or 4 unit cubes.

The Soma cube was invented as a puzzle game for adults, now we use the game for activity for children. There are different colors for each piece, so people can enjoy normal building blocks games.

Please check it out!

＜商品のご説明＞



7個のピースが入っています。各ピースは、一辺1cmの立方体（木片）からできています。
水性スプレーで着色して、ニスで仕上げています。（本校教員の手作りです）

ご購入は…

同志社中学校校務センターで販売しています。
郵送も可能です。（お支払は口座振込で）
どうぞお気軽に問い合わせください。

同志社中学校数学博物館
〒606-8558 京都市左京区宝ヶ池
TEL:075-781-7253 FAX:075-781-7254



Do★MATH